

# ガス警報器 (LPガス用)

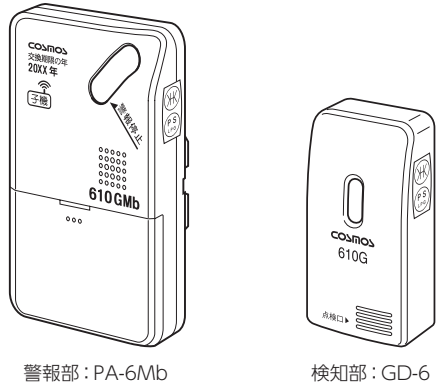
検知部分離型  
高圧ガス保安協会検定合格品

型式 **XL-610GMb** (警報部：PA-6Mb、検知部：GD-6)

子機

## 施工説明書 【施工される方へ】

お客さまにこの警報器を安全に正しく使用いただくために、この施工説明書をよくお読みいただき、指定された取り付けを行ってください。



警報部：PA-6Mb

検知部：GD-6

## 1 施工される方へのお願いとご注意

- お願いとご注意**
- 警報器の取り付けは、この施工説明書に従って指定された取り付けを行ってください。
  - 取り付け終了後に、必ず動作確認を行ってください。マイコンメータや外部機器と接続される場合は、マイコンメータや外部機器の取扱説明書および設置工事説明書に基づいて動作確認を行ってください。
  - 取り付け終了後に、P.17 [8-1 警報器の説明] [8-2 お客さまへの周知事項]について、必ずお客さまに説明してください。
  - 本警報器は、ガス警報器 (型式:XL-610GMA) (以下親機) およびマイコンメータ遮断用無線装置 (型式:RM-691) を使用して、マイコンメータなどの外部機器と連動して使用ください。※本警報器は親機1台に対して、最大3台まで無線接続することが可能です。
  - 本警報器をガス警報器(LPガス用)として単体で使用することも可能です。ただし、外部機器とは連動しません。
  - 取り付け前に必ずお読みいただき、お客さまや他の人々への危害や損害を未然に防止するために、必ずお守りください。注意事項は、誤った取り扱いによる危害や損害の程度を、下記の表示で区分しています。

- △警告** 作業を誤った場合に、取付作業員および使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
- △注意** 作業を誤った場合に、取付作業員および使用者が傷害を負う場合または物的損害の発生が想定される内容を示しています。

1 L610GMbCS\_01)

## 2. 緑組が完了すると、本警報器 (子機) と親機で以下のように動作します。

本警報器 (子機)	親機
接続する全ての子機で「親機の登録が完了しました」と鳴り、ランプが緑色に点灯し、監視状態に入る	「1台**の子機の登録が完了しました」と鳴り、ランプが緑色に点灯し、監視状態に入る
※4 2台以上の子機と緑組する場合、接続した台数が鳴ります。	

次の場合、緑組ができていません。

本警報器 (子機)	親機
緑組が完了していない状態で、本警報器 (子機) の親機用緑組ボタンを押してから約15分経過した場合	緑組が完了していない状態で、親機の子機用緑組ボタンを押してから約60秒経過した場合
① 本警報器 (子機) で「親機が登録できません」と鳴動後、約10秒間ランプが緑色と赤色の交互高速点滅**します。	① 親機で「子機が登録できません」と鳴動後、約10秒間ランプが緑色と赤色の交互高速点滅**します。
※5 交互高速点滅：1秒間に緑色と赤色が交互に4回点滅します。	※6 交互高速点滅：1秒間に緑色と赤色が交互に4回点滅します。

② 警報器 (子機・親機) のランプが緑色に点灯し、警報器が緑組前の監視状態に戻ります。

再度、緑組を行う場合、「1.警報器 (子機・親機) を緑組モードにする」の手順④からもう一度やり直してください。

6

**△警告**

- 分解や改造はしないでください。故障の原因となります。
- 警報器を落下させるなど、衝撃を与えないでください。故障の原因となります。

**△注意**

- 警報器に耳を近づけて、警報音を聞かないでください。聴力障害などの原因となります。
- 正しい取付位置に取り付けてください。取り付けてはいけない場所に取り付けると、警報の遅れ、誤動作、故障の原因となります。

## 2 施工前の確認

### 2-1 梱包部品の確認

梱包部品の種類と個数を確認してください。

警報部付属品	検知部付属品	その他
取付板 …1個	取付金具 …1個	取扱説明書 (保証書付) …1部
コード振れ止め …3個	コード振れ止め …8個	施工説明書 [本書] …1部
アンカープラグ…2個	アンカープラグ…2個	警告表示 「警報器が鳴ったら」 ステッカー…1枚
点検ガス …1個		
血木ねじ …2本	丸木ねじ …2本	点検ガス …1個
丸木ねじ …3本	丸木ねじ …2本	

### 2-2 保証書・警告表示「警報器が鳴ったら」ステッカーへの記入

保証書の所定の欄に、販売店さまの名称・住所・連絡先を記入してください。  
警告表示「警報器が鳴ったら」ステッカーの所定の欄に、販売店さまの名称と連絡先を記入してください。  
警告表示「警報器が鳴ったら」ステッカーは、お客さまの目につく場所に貼ってください。

2

### 〈緑組モード中に緑組を中止する場合〉

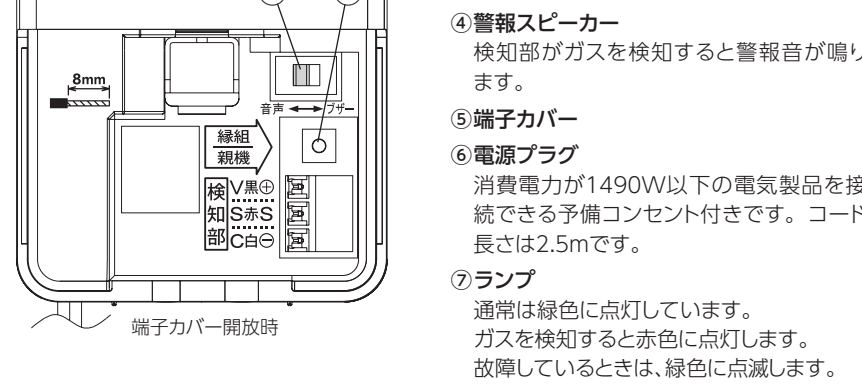
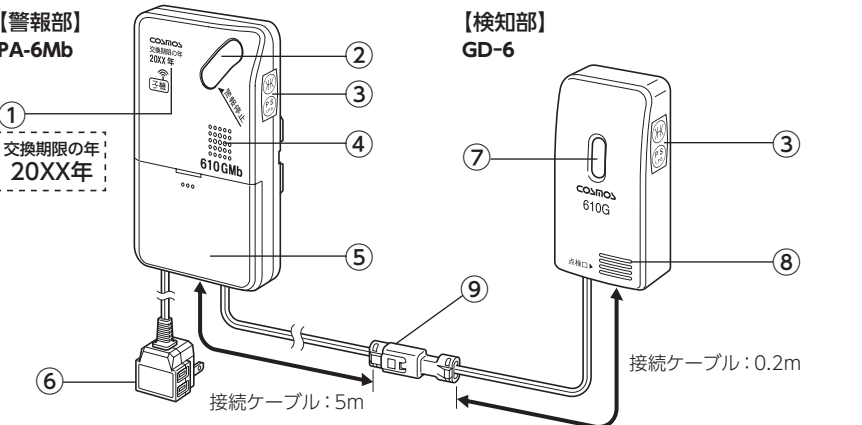
本警報器 (子機) で中止するとき	親機で中止するとき
① 親機との緑組を開始してから約15分以内に、警報停止スイッチを約1秒間押し、「ピッ」と鳴ったら警報停止スイッチから指を離す。	① 子機との緑組を開始してから60秒以内に、警報停止スイッチを約1秒間押し、「ピッ」と鳴ったら警報停止スイッチから指を離す。
② 「親機が登録できません」と鳴動後、約10秒間ランプが緑色と赤色の交互高速点滅**します。	② 「子機が登録できません」と鳴動後、約10秒間ランプが緑色と赤色の交互高速点滅**します。
※7 交互高速点滅：1秒間に緑色と赤色が交互に4回点滅します。	※8 交互高速点滅：1秒間に緑色と赤色が交互に4回点滅します。
③ 警報器 (子機・親機) のランプが緑色に点灯し、警報器が緑組前の監視状態に戻ります。再度、緑組を行う場合、「1.警報器 (子機・親機) を緑組モードにする」の手順④からもう一度やり直してください。	

### 3. 本警報器および親機の端子カバーを取り付ける

- 親機と緑組を解除する場合は、以下の手順を行ってください。
1. P.5 [1.警報器 (子機・親機) を緑組モードにする] の手順①～⑤の作業を行う。
  2. 本警報器 (子機) の警報停止スイッチを5秒間押し「ピッ」「ピーピーピー」と鳴り、親機との緑組情報が消去され、ランプが緑色に点灯し、監視状態に入る。
  3. 親機の警報停止スイッチを5秒間押し「ピッ」「ピーピーピー」と鳴り、子機との緑組情報が消去され、ランプが緑色に点灯し、監視状態に入る。
  4. 警報器 (子機・親機) の端子カバーを取り付ける。

7

### 2-3 各部の名称とはたらき

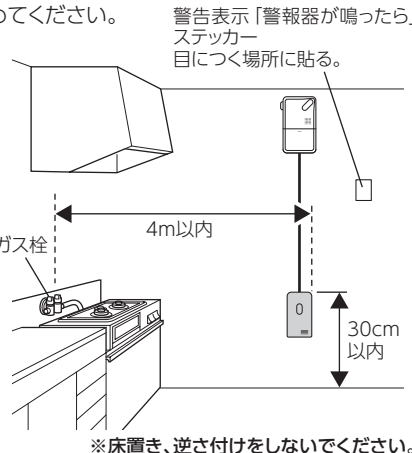


- ① 交換期限表示  
警報器の交換期限が表示されています。
- ② ランプおよび警報停止スイッチ  
通常は緑色に点灯しています。ガスを検知すると赤色に点灯します。故障しているときは、緑色に点滅します。警報中にスイッチを押すと、警報音を約1分間停止することができます。
- ③ 検定合格証  
高圧ガス保安協会の検定に合格した製品であることを証明しています。
- ④ 警報スピーカー  
検知部がガスを検知すると警報音が鳴ります。
- ⑤ 端子カバー
- ⑥ 電源プラグ  
消費電力が1490W以下の電気製品を接続できる予備コンセント付きです。コード長さは2.5mです。
- ⑦ ランプ  
通常は緑色に点灯しています。ガスを検知すると赤色に点灯します。故障しているときは、緑色に点滅します。
- ⑧ ガス検知部および点検口  
ガスを検知します。また点検ガスを注入する部分です。
- ⑨ 防水コネクタ  
警報部と検知部を接続します。
- ⑩ 音声 / プザー切替スイッチ  
警報器の音声を切り替えることができます。出荷時は、音声設定となっています。
- ⑪ 親機用緑組ボタン  
親機と無線通信を接続する際、ボタンを押します。

3

### 2-4 取付位置の確認

- 取付位置については、お客さまとよく相談して決めてください。
- 〔正しい取付位置について〕**
- 【警報部】
- ガスもれ警報があった場合、ランプの確認しやすい位置、点検が容易にできる場所。
  - 無線の電波強度を確認して、安定して通信できる場所。
- 【検知部】
- 床面から30cm以内の高さで、ガス器具や元栓 (ガス栓) の最も遠いところより水平距離で4m以内の場所。
  - ガスもれを検知しようとするガス機器を設置している場所と同一の室内。
  - もれたガスが滞留しやすい位置。



【取り付けてはいけない場所について】  
以下の場所には、絶対に警報器を取り付けしないでください。

- 【警報部】
- 振動・衝撃の激しいところ。誤動作や故障の原因になります。
  - 温度が-10℃以下または40℃以上になるところ。誤動作や故障の原因になります。
  - 器物や煮こぼれ、水、油などが落ちるところ。故障しているときは、緑色に点滅します。
  - 電子レンジなど電波干渉を起こしやすい障害物の近く。無線通信が妨げられ、通信エラーの原因になります。
- 【検知部】
- 振動・衝撃の激しいところ。誤動作や故障の原因になります。
  - 温度が-10℃以下または45℃以上になるところ。誤動作や故障の原因になります。
  - カーテンウォールなどで仕切られるところ。警報が遅れる原因になります。
  - 給排気口、通路、ドア付近などの風通しのよいところ、すきま風の入るところ。警報が遅れる原因になります。
- 使用時しか電源を入れないところ (ビルなどの湯沸室で夜間電源を切る場所)。警報器としての機能を果たしません。
- 浴室内、水のかかる場所、水滴がつく場所、結露する場所。感電や電気的故障の原因になります。
- 屋外。屋外では使用できません。
- 台所設備などでさえざられるところ。警報が遅れる原因になります。
- 燃焼器具などの排気、湯気、油煙などが直接かかるところ。センサ寿命が短くなったり、誤動作するおそれがあります。
- 屋外。屋外では使用できません。

4

### 〈取付板を使用して、木質壁・コンクリート壁・タイル壁に取り付ける場合〉

【警報部】  
取付板を付属の血木ねじ (長さ25mm、2本) で壁面に固定する。

【検知部】  
取付金具を付属の丸木ねじ (長さ25mm、2本) で壁面に固定する。

コンクリート壁・タイル壁の場合は、壁面にφ5ドリルで35mm程度の穴を開け、付属のアンカープラグを打ち込み、取付板・取付金具を取り付ける。  
※アンカープラグが入りにくい場合は、木づちで打ち込んでください。

### 〈配管などに取り付けする場合〉

検知部の背面に市販の結束バンドを差し込んで配管に取り付けることができます。

### 〈磁石を使用して壁面に取り付ける場合〉

検知部の背面に、別売の磁石 (OU-83) を使用して、取り付けることができます。  
※検知部が落下しないよう、できる限り平らな面にお取り付けください。取り付けの面が汚れている場合は、良く拭いてください。

※磁石が外れないよう、ねじはしっかりと奥までねじ込んでください。

9

## 3 親機 (型式: XL-610GMA) との緑組のしかた

親機 (XL-610GMA) 1台に対して、複数台の本警報器 (XL-610GMb) を無線接続されるお客さまへ  
親機1台に対して最大で3台まで本警報器を無線接続することができます。  
無線接続する全ての警報器で、下記の手順を行ってください。

**△注意**

本警報器を増設する場合は、無線接続する全ての警報器に対して親機との再緑組が必要となります。

親機と緑組される場合は、下記の手順を行ってください。  
※本警報器 (子機) を親機の近くに持ってきて、緑組をしてください。

### おねがい

警報部と検知部の接続線は抜かないでください。誤配線の原因となります。

#### 1. 警報器 (子機・親機) を緑組モードにする

- ① 警報器 (子機・親機) の電源プラグをコンセントに差し込む  
ランプが緑色に約2秒間点灯後、ゆっくり緑色に点滅\*\*します。  
※1 ゆっくり点滅：ランプが消灯から点灯、点灯から消灯へ連続的に変化します。
- ② 約3秒後、警報器 (子機・親機) のランプが緑色に点灯し、「警報器正常です」と鳴り、監視状態に入る
- ③ 警報器 (子機・親機) の端子カバーを外す  
端子カバーの溝にマイナスドライバーを差し込んで回してください。
- ④ 親機に接続する全ての子機 (最大3台) の親機用緑組ボタンを約1秒間押し、ランプが緑色と赤色の交互点滅\*\*して、「親機の登録を開始します」と鳴る  
※2 交互点滅：1秒間に緑色と赤色が交互に2回点滅します。



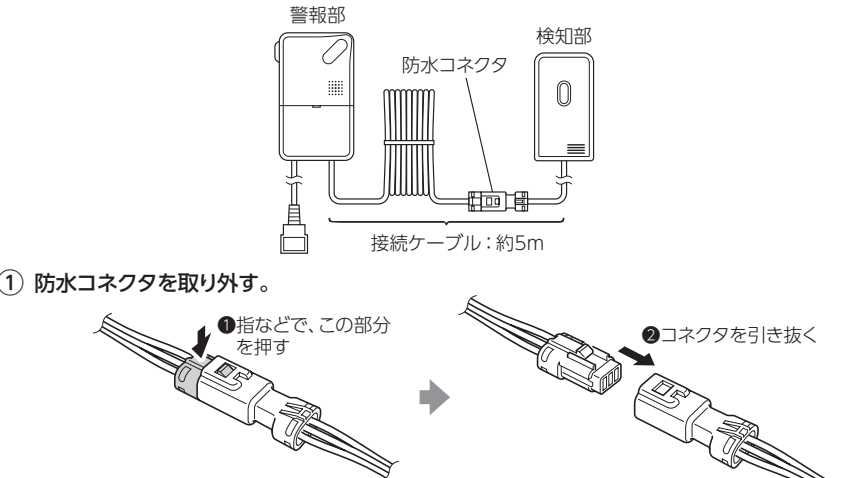
- ⑤ 親機の子機用緑組ボタンを約1秒間押し、ランプが緑色と赤色の交互点滅\*\*して、「子機の登録を開始します」と鳴る  
※3 交互点滅：1秒間に緑色と赤色が交互に2回点滅します。

### 4-2 警報器の取り付け

**△注意**

- 警報器を取り付ける際には、電源プラグをコンセントから抜いて作業を行ってください。感電・故障、誤動作の原因となります。
- 電気設備技術基準および内線規程により、電源コードはステップルや釘などで固定しないでください。
- 電源コードや警報部・検知部の接続線の上に、重いものを置かないでください。

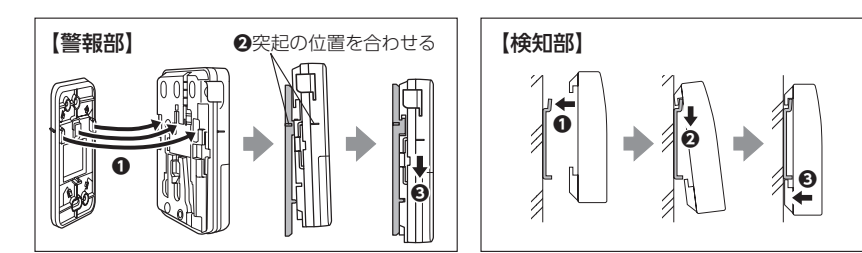
出荷時、警報部 (PA-6Mb) と検知部 (GD-6) は接続ケーブルで接続されています。



① 防水コネクタを取り外す。

**△注意**

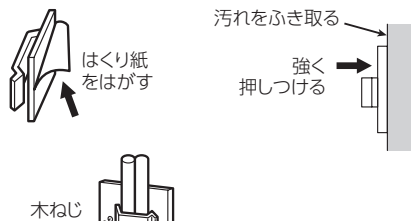
無理な力で、取付板に警報部を取り付けしないでください。  
取付板が破損するおそれがあります。



10

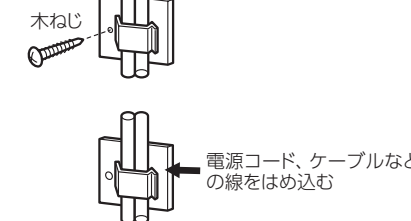


③ コード振れ止めを壁面に固定する。

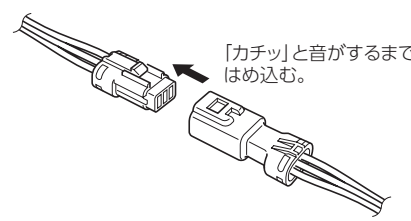


〔接着だけで取り付けできない場合〕  
木ねじを使用して固定する。

④ 電源コード、ケーブルなどの線を、コード振れ止めにはめ込む。



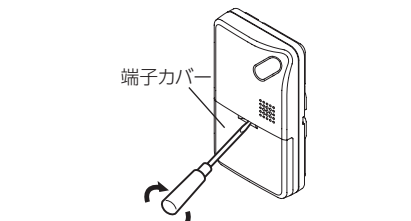
⑤ 防水コネクタを取り付ける。



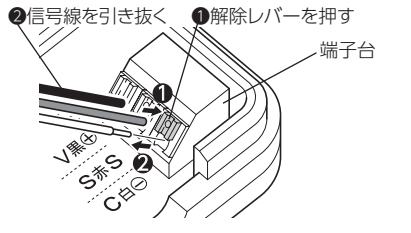
### 4-3 接続ケーブルの長さを調整する場合

接続ケーブルは、0.3mm<sup>2</sup>で200mまで延長できます。  
準備するもの： マイナスドライバー、ニッパー、延長ケーブル(緑色などで極性が区別できるもの)  
閉端圧着スリーブ、ビニルテープ、充填材(シリコン系を除く)  
※ 使用可能延長ケーブル  
線材 (推奨)： HKVF (通信機器用二種ビニルコード)  
VCTF (ビニルキャブタイヤ丸形コード)  
太 丈 ： 0.3～1.25mm<sup>2</sup> (AWG22～15)  
※ 延長ケーブルは、耐候性の線材をご使用ください。

① 端子カバーを外す。  
端子カバーの溝にマイナスドライバーを差し込んで回してください。



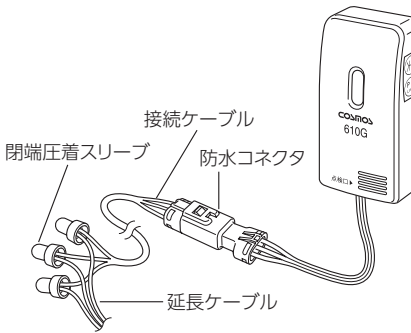
② 端子台の解除レバーを押しながら、接続ケーブルを引き抜く。



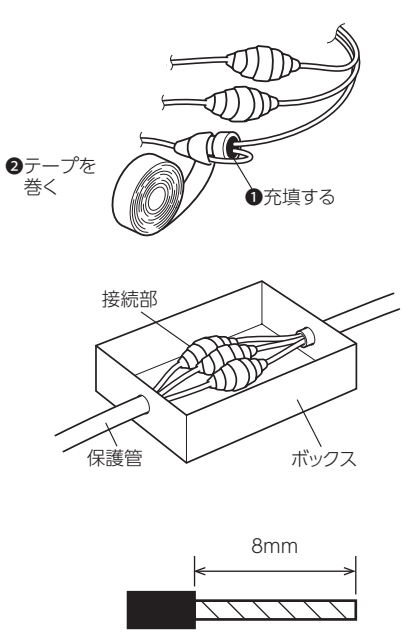
③ 延長ケーブルを、閉端圧着スリーブで接続ケーブルの警報部側端末に接続する。

④ 閉端圧着スリーブの接続部を充填材で埋め、接続部分を1本ずつビニルテープで巻いて処理する。

⑤ 右図のように、延長したケーブルの先端の被覆を剥き、延長したケーブルを警報部の端子部の表示に従って接続する(P.12手順②参照)。



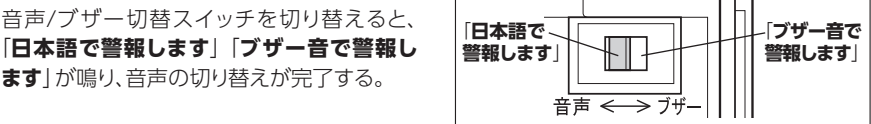
⑥ 右図のように、延長したケーブルの先端の被覆を剥き、延長したケーブルを警報部の端子部の表示に従って接続する(P.12手順②参照)。



## 5 取り付け後の点検

### 5-1 警報音声の設定

警報器の音声は、音声(日本語)・音声(日本語と中国語)・ブザーの3種類があります。初期設定は音声(日本語)に設定されていますので、必要に応じて、音声/ブザー切替スイッチと警報停止スイッチで、設定の変更を行ってください。



① 音声/ブザー切替スイッチを音声側にする。

② 日本語と中国語の警報音声が交互に鳴り、設定が完了する。

③ 日本語と中国語の警報音声を確認する。

④ 警報器が故障している場合は、ランプが緑色に点滅し続け、P.18に記載している故障時の音声またはブザーが鳴ります。別の警報器とお取り替えください。

⑤ 初期動作の点検後に、必ず「5-3 親機(型式:XL-610GMa)との通信確認」を行ってください。

⑥ 音声/ブザー切替スイッチをブザー側に設定した状態で、音声/ブザー切替スイッチを、ブザー、音声の順に切り替えると「日本語と中国語で警報します」が鳴ります。

⑦ 音声/ブザー切替スイッチをブザー側に設定した状態で、音声/ブザー切替スイッチを、ブザー、音声の順に切り替えると「日本語と中国語で警報します」が鳴ります。

⑧ 音声/ブザー切替スイッチをブザー側に設定した状態で、音声/ブザー切替スイッチを、ブザー、音声の順に切り替えると「日本語と中国語で警報します」が鳴ります。

⑨ 音声/ブザー切替スイッチをブザー側に設定した状態で、音声/ブザー切替スイッチを、ブザー、音声の順に切り替えると「日本語と中国語で警報します」が鳴ります。

⑩ 音声/ブザー切替スイッチをブザー側に設定した状態で、音声/ブザー切替スイッチを、ブザー、音声の順に切り替えると「日本語と中国語で警報します」が鳴ります。

⑪ 音声/ブザー切替スイッチをブザー側に設定した状態で、音声/ブザー切替スイッチを、ブザー、音声の順に切り替えると「日本語と中国語で警報します」が鳴ります。

⑫ 音声/ブザー切替スイッチをブザー側に設定した状態で、音声/ブザー切替スイッチを、ブザー、音声の順に切り替えると「日本語と中国語で警報します」が鳴ります。

⑬ 音声/ブザー切替スイッチをブザー側に設定した状態で、音声/ブザー切替スイッチを、ブザー、音声の順に切り替えると「日本語と中国語で警報します」が鳴ります。

⑭ 音声/ブザー切替スイッチをブザー側に設定した状態で、音声/ブザー切替スイッチを、ブザー、音声の順に切り替えると「日本語と中国語で警報します」が鳴ります。

⑮ 音声/ブザー切替スイッチをブザー側に設定した状態で、音声/ブザー切替スイッチを、ブザー、音声の順に切り替えると「日本語と中国語で警報します」が鳴ります。

⑯ 音声/ブザー切替スイッチをブザー側に設定した状態で、音声/ブザー切替スイッチを、ブザー、音声の順に切り替えると「日本語と中国語で警報します」が鳴ります。

⑰ 音声/ブザー切替スイッチをブザー側に設定した状態で、音声/ブザー切替スイッチを、ブザー、音声の順に切り替えると「日本語と中国語で警報します」が鳴ります。

⑱ 音声/ブザー切替スイッチをブザー側に設定した状態で、音声/ブザー切替スイッチを、ブザー、音声の順に切り替えると「日本語と中国語で警報します」が鳴ります。

⑲ 音声/ブザー切替スイッチをブザー側に設定した状態で、音声/ブザー切替スイッチを、ブザー、音声の順に切り替えると「日本語と中国語で警報します」が鳴ります。

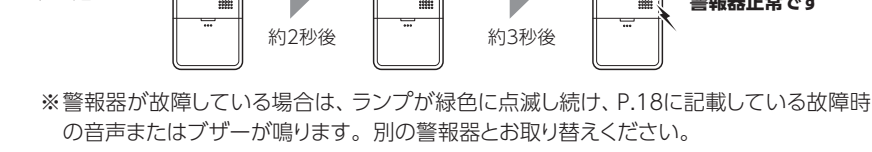
⑳ 音声/ブザー切替スイッチをブザー側に設定した状態で、音声/ブザー切替スイッチを、ブザー、音声の順に切り替えると「日本語と中国語で警報します」が鳴ります。

㉑ 音声/ブザー切替スイッチをブザー側に設定した状態で、音声/ブザー切替スイッチを、ブザー、音声の順に切り替えると「日本語と中国語で警報します」が鳴ります。

### 5-2 初期動作の点検

① 電源プラグをコンセントに差し込む。  
ランプが緑色に約2秒間点灯後、緑色にゆっくり点滅<sup>※9</sup>します。  
※9: ゆっくり点滅  
ランプが消灯から点灯、点灯から消灯へ連続的に変化します。  
※ 交換期限お知らせ機能を解除している場合、ランプ動作は点滅となります。

② 約3秒後ランプが緑色に点灯し、「警報器正常です」と鳴り、監視状態に入る。



③ 警報器が故障している場合は、ランプが緑色に点滅し続け、P.18に記載している故障時の音声またはブザーが鳴ります。別の警報器とお取り替えください。

④ 初期動作の点検後に、必ず「5-3 親機(型式:XL-610GMa)との通信確認」を行ってください。

⑤ 初期動作の点検後に、必ず「5-3 親機(型式:XL-610GMa)との通信確認」を行ってください。

⑥ 初期動作の点検後に、必ず「5-3 親機(型式:XL-610GMa)との通信確認」を行ってください。

⑦ 初期動作の点検後に、必ず「5-3 親機(型式:XL-610GMa)との通信確認」を行ってください。

⑧ 初期動作の点検後に、必ず「5-3 親機(型式:XL-610GMa)との通信確認」を行ってください。

⑨ 初期動作の点検後に、必ず「5-3 親機(型式:XL-610GMa)との通信確認」を行ってください。

⑩ 初期動作の点検後に、必ず「5-3 親機(型式:XL-610GMa)との通信確認」を行ってください。

⑪ 初期動作の点検後に、必ず「5-3 親機(型式:XL-610GMa)との通信確認」を行ってください。

⑫ 初期動作の点検後に、必ず「5-3 親機(型式:XL-610GMa)との通信確認」を行ってください。

⑬ 初期動作の点検後に、必ず「5-3 親機(型式:XL-610GMa)との通信確認」を行ってください。

⑭ 初期動作の点検後に、必ず「5-3 親機(型式:XL-610GMa)との通信確認」を行ってください。

⑮ 初期動作の点検後に、必ず「5-3 親機(型式:XL-610GMa)との通信確認」を行ってください。

⑯ 初期動作の点検後に、必ず「5-3 親機(型式:XL-610GMa)との通信確認」を行ってください。

⑰ 初期動作の点検後に、必ず「5-3 親機(型式:XL-610GMa)との通信確認」を行ってください。

⑱ 初期動作の点検後に、必ず「5-3 親機(型式:XL-610GMa)との通信確認」を行ってください。

⑲ 初期動作の点検後に、必ず「5-3 親機(型式:XL-610GMa)との通信確認」を行ってください。

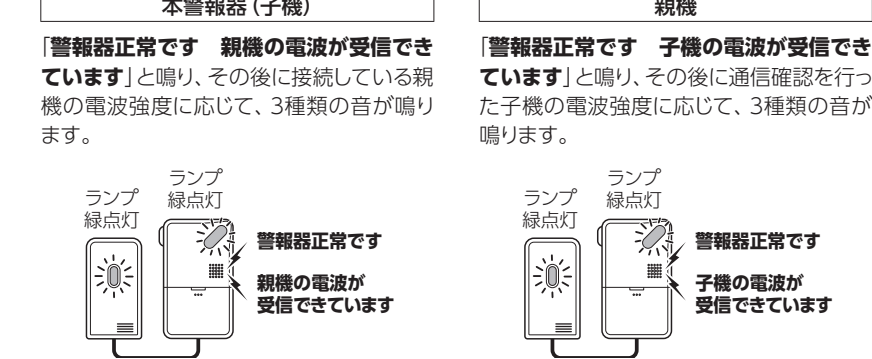
⑳ 初期動作の点検後に、必ず「5-3 親機(型式:XL-610GMa)との通信確認」を行ってください。

㉑ 初期動作の点検後に、必ず「5-3 親機(型式:XL-610GMa)との通信確認」を行ってください。

㉒ 初期動作の点検後に、必ず「5-3 親機(型式:XL-610GMa)との通信確認」を行ってください。

### 5-3 親機(型式:XL-610GMa)との通信確認

以下の要領で、親機との通信を確認してください。  
① 親機の電源が入っていることを確認する  
② 本警報器(子機)の警報停止スイッチを約1秒間押すとランプが緑色に点滅し、「ビッ」と鳴ります。  
③ 本警報器(子機)と親機で、以下のように動作します。



④ 初期動作の点検後に、必ず「5-3 親機(型式:XL-610GMa)との通信確認」を行ってください。

⑤ 初期動作の点検後に、必ず「5-3 親機(型式:XL-610GMa)との通信確認」を行ってください。

⑥ 初期動作の点検後に、必ず「5-3 親機(型式:XL-610GMa)との通信確認」を行ってください。

⑦ 初期動作の点検後に、必ず「5-3 親機(型式:XL-610GMa)との通信確認」を行ってください。

⑧ 初期動作の点検後に、必ず「5-3 親機(型式:XL-610GMa)との通信確認」を行ってください。

⑨ 初期動作の点検後に、必ず「5-3 親機(型式:XL-610GMa)との通信確認」を行ってください。

⑩ 初期動作の点検後に、必ず「5-3 親機(型式:XL-610GMa)との通信確認」を行ってください。

⑪ 初期動作の点検後に、必ず「5-3 親機(型式:XL-610GMa)との通信確認」を行ってください。

⑫ 初期動作の点検後に、必ず「5-3 親機(型式:XL-610GMa)との通信確認」を行ってください。

⑬ 初期動作の点検後に、必ず「5-3 親機(型式:XL-610GMa)との通信確認」を行ってください。

⑭ 初期動作の点検後に、必ず「5-3 親機(型式:XL-610GMa)との通信確認」を行ってください。

⑮ 初期動作の点検後に、必ず「5-3 親機(型式:XL-610GMa)との通信確認」を行ってください。

⑯ 初期動作の点検後に、必ず「5-3 親機(型式:XL-610GMa)との通信確認」を行ってください。

⑰ 初期動作の点検後に、必ず「5-3 親機(型式:XL-610GMa)との通信確認」を行ってください。

⑱ 初期動作の点検後に、必ず「5-3 親機(型式:XL-610GMa)との通信確認」を行ってください。

⑲ 初期動作の点検後に、必ず「5-3 親機(型式:XL-610GMa)との通信確認」を行ってください。

⑳ 初期動作の点検後に、必ず「5-3 親機(型式:XL-610GMa)との通信確認」を行ってください。

㉑ 初期動作の点検後に、必ず「5-3 親機(型式:XL-610GMa)との通信確認」を行ってください。

㉒ 初期動作の点検後に、必ず「5-3 親機(型式:XL-610GMa)との通信確認」を行ってください。

### 5-4 ガス警報機能の点検

① 付属の点検ガス以外は、絶対に使用しないでください。

② 点検ガスの先端を検知部の点検口にあてる。

③ 点検ガスのレバーを押さえて、点検口に約3秒程度ガスを注入する。  
ランプが赤色に点灯して警報音が鳴ると警報器は正常に作動しています。

④ ガスを注入しても、警報を発しない場合は、もう一度同じ作業を行ってください。それでも警報を発しない場合は、警報器の故障が考えられますので、別の警報器とお取り替えください。



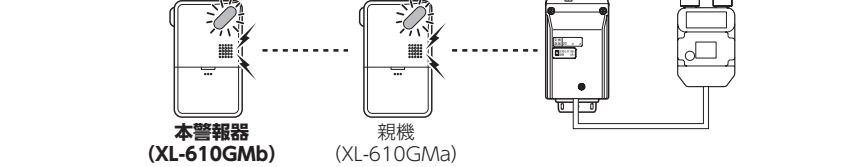
### 5-5 簡単点検機能での親機およびマイコンメータとの連動確認

電源プラグをコンセントに差し込んでから約4分30秒間は、簡単点検機能が動いています。マイコンメータにしゃ断信号を即時で出力するため、連動確認が容易に行えます。

① 親機およびマイコンメータ遮断用無線装置の電源が入っていることを確認する。

② 電源プラグをコンセントに差し込んだ後、警報器が監視状態(ランプ緑点灯)になったことを確認する。

③ 「5-4 ガス警報機能の点検」を行って警報が鳴りやんでから、再度「5-4 ガス警報機能の点検」を行う(2回行う)。  
警報音が鳴り、即時でマイコンメータにしゃ断信号を出力します。



④ マイコンメータがガスをしゃ断します。  
※ 電源プラグをコンセントに差し込んで約4分30秒以降は、ガス警報が鳴ってから約25～40秒後に、警報器がしゃ断信号を出力します(通常動作)。

### 6 交換期限お知らせ機能を解除する場合

出荷時、交換期限お知らせ機能が動いています(警報器の交換期限を過ぎたことをランプの緑色の点滅でお知らせする機能です)。交換期限お知らせ機能を解除する場合は、警報停止スイッチを押しながら電源プラグをコンセントに差し込んでください。  
ランプが緑色に速く点滅し、約3秒後に点灯に変わり、警報器は監視状態に入ります。  
※ 交換期限お知らせ機能を再度設定する場合は、同じ手順を繰り返してください。交換期限お知らせ機能の変更(設定・解除)は何度でも可能です。



### 7 廃棄について

本警報器の廃棄の際は、お住いの市町村の廃棄物の処理方法にしたがって廃棄してください。

### 8 お客さまへの説明について

- ① 警報動作および点検結果の説明。
- ② 取扱説明書を必ず読んでいただくことをお願い。
- ③ 取扱説明書(保証書付)の保管をお願い。
- ④ 取扱説明書に基づく主要な機能の説明と確認。
  1. ガス警報の内容(ランプ赤点灯、警報音の確認)と、警報時にとるべき処置の説明。
  2. 部屋の外にいて、ガス警報に気づいたときにとるべき処置の説明。
  3. 親機およびマイコンメータ連動・外部機器連動機能の説明。
  4. 誤報が発生する原因と処置の説明。
  5. 異常発生時(故障)の内容(ランプが緑点滅と音声合成音の確認)と処置の説明。
  6. 警報音確認機能の説明。
  7. 鳴動原因表示機能の説明。
  8. 警報停止スイッチの説明
    - 機器故障音声機能
    - 交換期限お知らせ機能
    - 通信エラー音声機能

### 8-2 お客さまへの周知事項

- ① 警報器の交換期限のお知らせ(本体に表示)。
- ② 保証書を必ず読んで内容を理解した上で取り扱うこと。
- ③ 警告表示「警報器が鳴ったら」ステッカーに記載の緊急連絡先のお知らせ。
- ④ 警報器の移設禁止(移設依頼時の連絡先)。
- ⑤ 警報器の分解禁止。
- ⑥ 引越時の処置。
- ⑦ 故障・異常時の連絡先。

### 【参考】警報器が発する音声一覧

項目	ブザー	音声
監視時	—	—
初期動作終了時	「警報器正常です」	—
ガス警報時	「ウーウー ビッビッビッ」	(日本語) 「ウーウービッビッビッ ガスがもれていませんか」 (日本語と中国語) 「ウーウービッビッビッ ガスがもれていませんか ウーウービッビッビッ 請検査、有没有漏気」
警報部が故障時	「ビッビッ」	「ビッビッ 警報部故障です」
検知部が故障時	「ビッビッ」	「ビッビッ 検知部故障です」
警報部⇔検知部の誤配線(VSCの誤配線、断線)	「ビッビッ」	「ビッビッ 検知部との配線を確認してください」
親機との無線通信がエラー時	「ビッビッ」	「ビッビッ 親機の電波が受信できません」
警報器の交換期限お知らせ(交換期限を過ぎて、警報停止スイッチを押した場合)	「警報器の交換期限が過ぎています 販売店に連絡してください」	—

※ 中国語の音声は、ガス警報時のみ鳴動します。それ以外は、日本語による音声です。  
※ ブザー設定時、警報停止スイッチを押すと音声で鳴ります。

### memo

メモ欄

### memo

メモ欄

### 新コスモス電機株式会社

本社 〒532-0036 大阪市淀川区 三津屋中2-5-4 (06)6308-3155(代)  
〔北海道〕札幌 (011)231-1101(代) 〔中部〕名古屋 (052)951-2650(代)  
〔東北〕仙台 (022)295-6061(代) 静岡 (054)255-1901(代)  
〔北陸〕金沢 (076)234-5611(代) 〔関西〕大阪 (06)6308-3155(代)  
〔関東〕東京 (03)5403-2706(代) 〔四国・中国〕岡山 (086)435-5087(代)  
新潟 (025)365-1390(代) 広島 (082)568-2800(代)  
〔九州〕福岡 (092)431-1881(代)